

本町で震度5弱を記録 家屋や公共施設に大きな被害



2階の屋根瓦（降棟部分）が落下し、1階の屋根に突き刺さった家屋（田の浜地区）



書棚から無数の図書が床になだれ落ちました（町立図書館）



海側に20°程度傾いた織笠漁港の護岸



崩落した船越小学校グラウンドの擁護壁（石垣）



大きな揺れにより、多くの墓石が倒れました（田の浜地区）



擁壁が傾き、基礎部分が外側に大きくゆがんだ家屋（船越地区）

壊など住民生活に深いつめ跡を残しました。

4人が落下物により 頭部や腕などを負傷

地震発生と同時に東北電力山田変電所では、電源装置が誤作動を起こし、五千七百七十八世帯が最大で十一分間の停電となりました。またJR山田線は地震発生の直後から運転を見合わせ。翌二十七日も路盤や運行システムの点検で終日運転を見合わせるなど、交通機関も大きく乱れました。

人的被害では、屋根瓦の落下物などで、四人が頭部や腕など

五月二十六日午後六時二十四分ごろ、宮城県沖を震源とする三陸南地震が発生しました。岩手県沿岸南部と内陸南部、宮城県北部で震度6弱、本町で震度5弱を記録。揺れは北海道から兵庫県までの広い範囲で観測されました。震源地は宮城県気仙沼市沖（南南東約二十キ）で、震源の深さは約七十一キロ。マグニチュード（M）は7.0と推定されます。

町では、地震発生後の二十一日午後六時三十五分に町災害警戒本部を設置。町内各地区の情報収集と警戒に当たり、同日午後八時十分、町に被害報告があったのと同時に災害対策本部に切り替え、被害の状況把握と対応に当たりました。

震度5弱の大きな揺れを観測した本町。幸い津波は発生しませんでしたでしたが、家屋や道路の損

を負傷したほか、一人が地震のショックで体調を崩し病院に運ばれました。

家屋の被害は、屋根瓦の落下や壁面の亀裂、擁壁の傾きなどの損壊が七十九棟。船越地区だけで五十六棟に被害が出ました。家屋の被害額は約三千三百万円に上りました。

公共施設関係では、織笠漁港の護岸の傾きによる舗装面の沈下や、船越小学校グラウンドの擁護壁（石垣）の崩落のほか、町道長林大浦線のご線橋と道路に三十メートルの段差が生じ、通行止めになりました。このほか、道路の陥没やのり面の崩落などが二十六カ所、水道管本管の破裂が九カ所で発生するなど、町内全域で大きな被害を受けました。

町の被害総額（六月五日現在）は、一億二千五百八十四万六千円に上りました。

公共施設の復旧費に 八千五百万円を計上

町では、六月十日開会の町議会定例会で、災害復旧費として八千五百八十九万六千円を予算措置。漁港や道路、学校関係などの修復工事のほか、破損した備品の購入など、被害を受けた公共施設の応急的な復旧作業を進めています。

町の主な被害状況

【人的被害】

- 屋根瓦やガラスの落下物で4人が頭部や腕などを負傷。地震のショックにより1人が体調を崩す。

【家屋被害】

- 屋根瓦の落下や壁面の亀裂、擁壁の傾きなど住家や倉庫79棟が損壊（山田10棟、船越56棟、織笠8棟、大沢1棟、豊間根4棟）。

【公共施設被害】

- 町道長林大浦線のご線橋と道路に30メートルの段差が生じ通行止め。町道前須賀タブの木荘線の上型側溝が200メートルにわたり隆起。このほか、町道15路線で路面の陥没やのり面の崩落などが25カ所で発生。
- 織笠漁港の護岸が海側にずれ、背後のコンクリート舗装にひび割れや20センチ程度の沈下が発生。
- 船越小学校グラウンドの擁護壁（石垣）が、幅4メートル、長さ10メートルにわたり崩落。このほか、各小中学校で天井や壁の剥がれ落ちなどが発生。
- 水道管本管の破裂が9カ所で発生。
- 集会施設などの窓ガラスや書庫ガラスが17枚破損。

リフォーム融資のご利用を

住宅金融公庫では、地震や暴風雨などで被害を受け、住宅を補修する人に対し融資を行っています。

▷対象工事 増築や改築工事、修繕・模様替え

▷融資条件 ▶町税務課が発行する「り災証明書」が必要▶融資額は、基本融資額と特別加算額の合計額が工事費のいずれか低い額▶基本融資額は工事費の8割▶11年目以降の金利は3.5%——などです。

▷返済期間 20年以内

▷申込期限 り災した日から1年以内

▷申込先・問い合わせ 住宅金融公庫東北支店（☎022-227-5035）へどうぞ。

【融資内容】

区分(金利)	増築・改築	修繕・模様替え
基本融資額(金利2.1%)	530万円	240万円
特別加算額(金利3.1%)	200万円	200万円